第１回公開シンポジウム「ケミカルバイオロジーと生化学の融合」

応用生命化学研究センター

平成22年3月15日（月）13：15より、農学部BW106講議室にて、応用生命化学研究センター主催の第1回公開シンポジウム「ケミカルバイオロジーと生化学の融合」を開催しました。

早川農学部長および川浪研究センター代表の挨拶の後に、京都大学大学院農学研究科三芳秀人教授をお迎えし、「生物有機化学の視点から呼吸鎖酵素（複合体-I）を探る」と題した基調講演を実施しました。その後、応用生命化学研究センターメンバーである5名の農学部教員が研究紹介を行い、最後は田島副学長からご挨拶をいただきました。学部生、大学院生を含む約60名の参加者があり、質疑も活発で30分超過するほど盛会のうちに終了することができました。

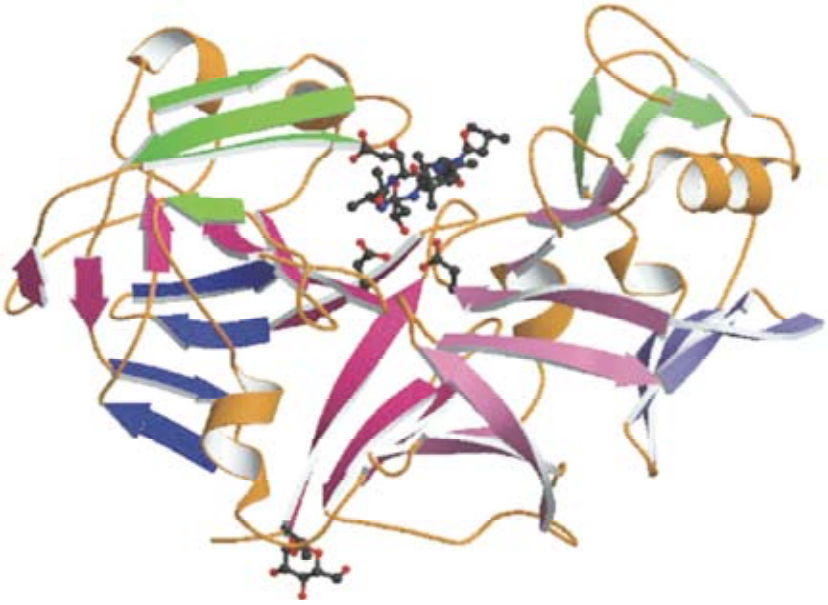
公開シンポジウム

香川大学農学部

ケミカルバイオロジーと生化学の融合

Chemical biology

Biochemistry



と　き　平成22年3月15日(月) 午後1時15分~4時45分

ところ　香川大学農学部 BW106

参加費　無料

●基 調 講 演

「生物有機化学の視点から呼吸鎖酵素（複合体-I）を探る」

三芳　秀人　京都大学大学院農学研究科教授

●研 究 報 告

「化学物質を介した植物間のコミュニケーション」

加藤　尚　香川大学農学部教授

「ライフサイエンスにおけるＮＭＲの利用」

佐藤　正資　香川大学農学部准教授

「超好熱菌酵素の結晶構造解析とケミカルバイオロジー」

櫻庭　春彦　香川大学農学部教授

「担子菌キノコの子実体形成について」

渡辺　彰　香川大学農学部准教授

「熱帯産樹木からの新規生物活性物質の探索」

鈴木　利貞　香川大学農学部准教授

● 司　会　片山　健至　香川大学農学部教授

主　催：香川大学農学部　応用生命化学研究センター

問い合わせ先　香川大学農学部　川浪　康弘

TEL : 087-891-3088　FAX 087-891-3021